

特集

この春イチ推し！ 歴史にふれる桜めぐり

問 那須与一伝承館 ☎ 0287-20-0220

市内にある桜の名所というと、野崎の工業団地や黒羽田町的那珂川河川敷(桜の馬場公園)をイメージする方が多いと思います。しかし、市内には他にもたくさん桜の名所があります。今回は、テーマを「桜×千年」、「桜×大関和」、「桜×城」の3つに絞ってご紹介します。

1 駒込の池(大輪)

【チェックポイント】

那須与一が扇の的を射落とした際に乗っていたと伝わるたくましい黒馬「鶺鴒の駒」は、この池の近くで生まれたといわれています。

駒込の池の約2.5km北には、与一の居城とも伝わる高館城たかたてじょうもあります。

【アクセス】

▶大田原市デマンド交通(黒羽地区)
「駒込の池」下車すぐ

【場所・詳しい歴史】

こちらのページを
ご覧ください。



2 鴻巣馬頭観世音堂(練貫)

【チェックポイント】

こちら、鶺鴒の駒ゆかりの場所です。鴻巣馬頭観世音は、鶺鴒の駒の霊を弔い、那須七騎も厚く帰依したといわれています。約400m西には、与一が勧請したと伝わる温泉神社があります。

【アクセス】

▶大田原市営バス雲巖寺線
「鴻巣公民館前」
停留所下車徒歩1分

【詳しい歴史】

こちらのページを
ご覧ください。





4 たかだてじょう 高館城(大輪)



【チェックポイント】

高館城は、那珂川左岸の急峻な地形を利用して築かれた山城です。那須資隆(那須与一の父親)が築城し、与一もこの城にいたといわれています。

本丸跡は公園として整備されており、桜を愛でるだけでなく、那須野が原を一望することもできます。

【アクセス】

▶ 高館城公園の駐車場から徒歩5分

【場所・詳しい歴史】

こちらのページをご覧ください。





桜×城



5 黒羽城(前田)

【チェックポイント】

黒羽城は、戦国時代後期の天正4年(1576)から明治維新まで約300年間、黒羽藩主大関家の居城でした。堀や曲輪跡が良好な状態で残っています。黒羽城址公園駐車場を起点に、ぜひ散策してみてください。

【アクセス】

▶黒羽城址公園駐車場からすぐ

【場所・詳しい歴史】

こちらのページをご覧ください。



3 大宿街道(黒羽田町)

【チェックポイント】

大宿街道は、江戸時代、黒羽藩の家臣団の屋敷が並んでいた場所です。この一角(現在の侍門の前)に、大関弾右衛門増虎の屋敷がありました。増虎の二女で、近代看護の先駆者となる大関和も、ここで生まれたと考えられます。

【アクセス】

▶大田原市営バス、関東自動車「黒羽支所停留所」下車徒歩10分

【場所・詳しい歴史】

こちらのページをご覧ください。



6 大田原城(城山)

【チェックポイント】

大田原城は、戦国時代中期の天文12年(1543)ないし天文14年(1545)に大田原資清が築城しました。こちらも、明治維新まで大田原家の居城でした。城跡は龍城公園として整備されましたが、堀や曲輪の一部は今も残っています。本丸を囲むように桜が植えられています。

【アクセス】

▶龍城公園駐車場/関東自動車「龍城公園前停留所」下車すぐ

【場所・詳しい歴史】

こちらのページをご覧ください。

